

WE'RE FOR CREATORS™

2022年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2022年11月8日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

前年同期比で減収減益も、売上回復傾向及び円安効果により営業利益・経常利益の黒字を確保

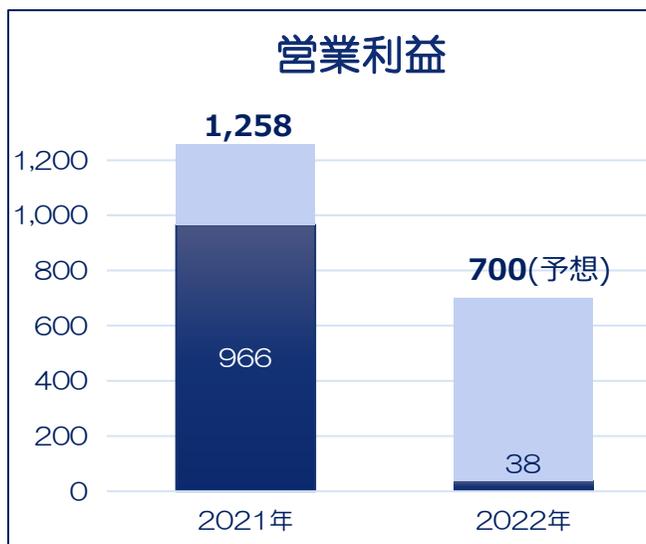
2022年第3四半期連結業績

売上高	:	8,835百万円	(前年同期比	▲928百万円)
営業利益	:	38百万円	(前年同期比	▲928百万円)
経常利益	:	61百万円	(前年同期比	▲857百万円)

- 一部販売代理店による在庫調整及び半導体不足による売れ筋製品の供給不足等により、前年同期比で減収。また、売上総利益率の低いズーム製品以外（Mogar取扱いブランド及びフックアップ取扱いブランド）のシェアが増加し、ドル高によりズーム製品以外の売上総利益率が減少したため、前年同期比で減益となった。
- 3Qは、販売代理店での在庫過多の状態解消による出荷増に加え、円安効果もあり営業利益・経常利益の黒字を確保

■3Q ■年間

(百万円)



2022年12月期 第3四半期 連結損益計算書（要約）



（百万円）

	2021.12期 第3Q実績	2022.12期 第3Q実績	増減額	摘要
売上高	9,764	8,835	▲928	<ul style="list-style-type: none"> 一部販売代理店による在庫調整及び半導体不足による売れ筋製品の供給不足による販売数量の減少は継続 一方、円安効果やフックアップを12ヵ月分連結していることによる売上げがあった
売上総利益 (売上総利益率)	4,168 (42.7%)	3,341 (37.8%)	▲827	<ul style="list-style-type: none"> 売上総利益率の低いズーム製品以外（Mogar取扱いブランド及びフックアップ取扱いブランド）のシェアが増加し、ドル高によりズーム製品以外の売上総利益率が減少 ズーム製品の売上総利益率 2021.3Q実績：44.3% 2022.3Q実績：43.3% ズーム製品以外の売上総利益率 2021.3Q実績：32.6% 2022.3Q実績：22.6%
営業利益 (売上高営業利益率)	966 (9.9%)	38 (0.4%)	▲928	
経常利益 (売上高経常利益率)	918 (9.4%)	61 (0.7%)	▲857	<ul style="list-style-type: none"> 円安により為替差益を30百万円計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	631 (6.5%)	▲44 (▲0.5%)	▲676	<ul style="list-style-type: none"> 一部製品の開発中止により関連する金型の固定資産除却損を33百万円計上 のれん償却費に節税効果がないことや、Mogar社の利益に非支配株主持分が生じるため、最終赤字に
EBITDA	1,267	364	▲902	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※301 1,034 ▲13	※326 742 30	25 ▲292 43	※のれん償却費153百万円（前年同期135百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	108.4円	128.0円	+19.6円	

Other(その他、Mogar取扱いブランド、HUP取扱いブランド)



AMSシリーズ

ZUM-2PMP



Mogar取扱いブランド

HUP取扱いブランド



Q8n-4K

ミュージシャンのための
高音質4Kカメラ

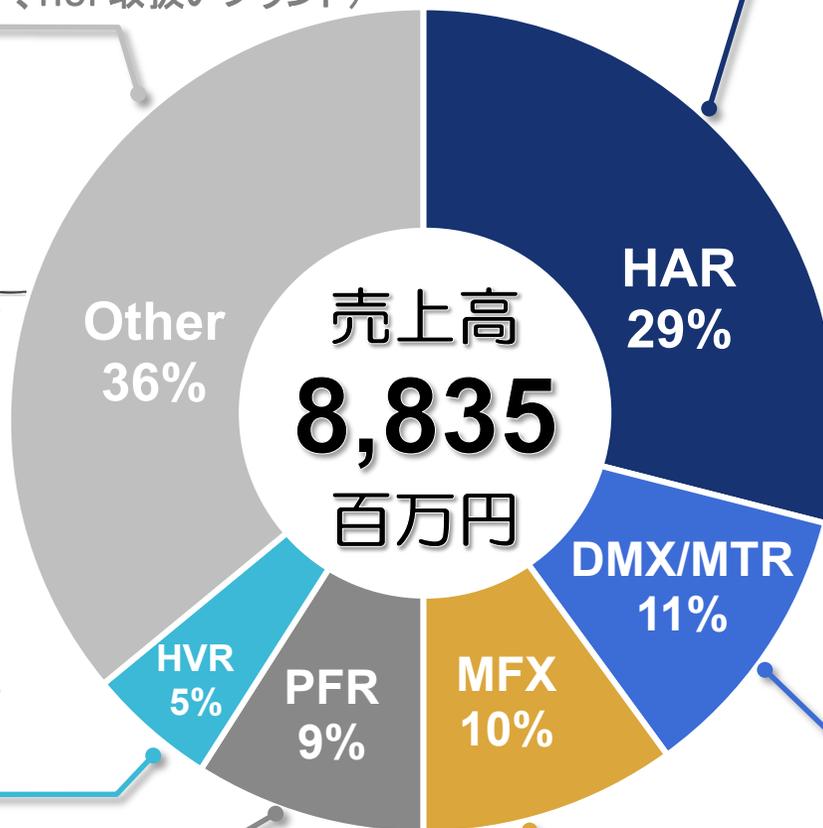
Handy Video Recorder

Professional Field Recorder



F3

様々な撮影現場で、大音量から極めて
静かな音まで最高のクオリティで歪み
なく録音可能なフィールドレコーダー



売上高
8,835
百万円

Handy Audio Recorder



H6 BLACK

6種類の交換マイクカプセルで、ポッドキャストから音楽、映像プロダクションなど、いつでも頼りになるプロ音質のハンディレコーダー



R20

音質の良さはもちろん、BGMを流したり、電話出演のゲストを招き入れたり、ポッドキャスト番組の収録やライブ演奏のミキシングが手軽に行えるライブミキサー&レコーダー

Digital Mixer / Multi Track Recorder

Multi Effector



B6

ギターの表現力を大幅に広げる
エクスペッションペダルを装
備したマルチエフェクター

販売代理店の在庫調整及び半導体供給不足により一部のカテゴリーを除き売上減少

(百万円)

	2021.12期 3Q実績(シェア)	2022.12期 3Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	3,628 (37%)	2,583 (29%)	▲1,045	・主として欧米の販売代理店の在庫調整により出荷が減少
デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,621 (17%)	964 (11%)	▲657	・2021年11月発売のR20の新製品効果があったものの、Pシリーズへの需要低下や、半導体不足の影響のため主としてLシリーズの生産数量が大きく減少
マルチエフェクター (MFX)	926 (9%)	922 (10%)	▲4	・2021年10月発売のB6の新製品効果があったものの、主として米国の販売代理店の在庫調整により出荷が減少
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	718 (7%)	827 (9%)	108	・半導体不足の影響により一部の製品について十分な生産ができない状況が続いているものの、需要の多いF3を想定以上に供給できたこと及び円安効果等により売上が増加
ハンディビデオレコーダー (HVR)	590 (6%)	445 (5%)	▲144	・2021年12月発売Q8n-4Kの新製品効果があったものの、需要の急増が前年同期にあったことによる反動減により売上が減少
その他	918 (10%)	744 (9%)	▲173	・前年同期にマイクロフォンカテゴリーにおいて新製品効果による販売増があったことによる反動減
Mogar取扱いブランド	589 (6%)	761 (9%)	172	・円安及び南ヨーロッパにおいてコロナ禍での経済活動の正常化が進んだことにより需要が回復
フックアップ取扱いブランド	770 (8%)	1,587 (18%)	817	・フックアップの決算日変更により12ヶ月分の売上を取込み(前年同期は6ヶ月分の売上)
合計	9,764	8,835	▲928	

2022年12月期 第3四半期 地域別売上高



販売代理店による在庫調整及び半導体不足による売れ筋製品の供給不足等により多くの地域において売上減少

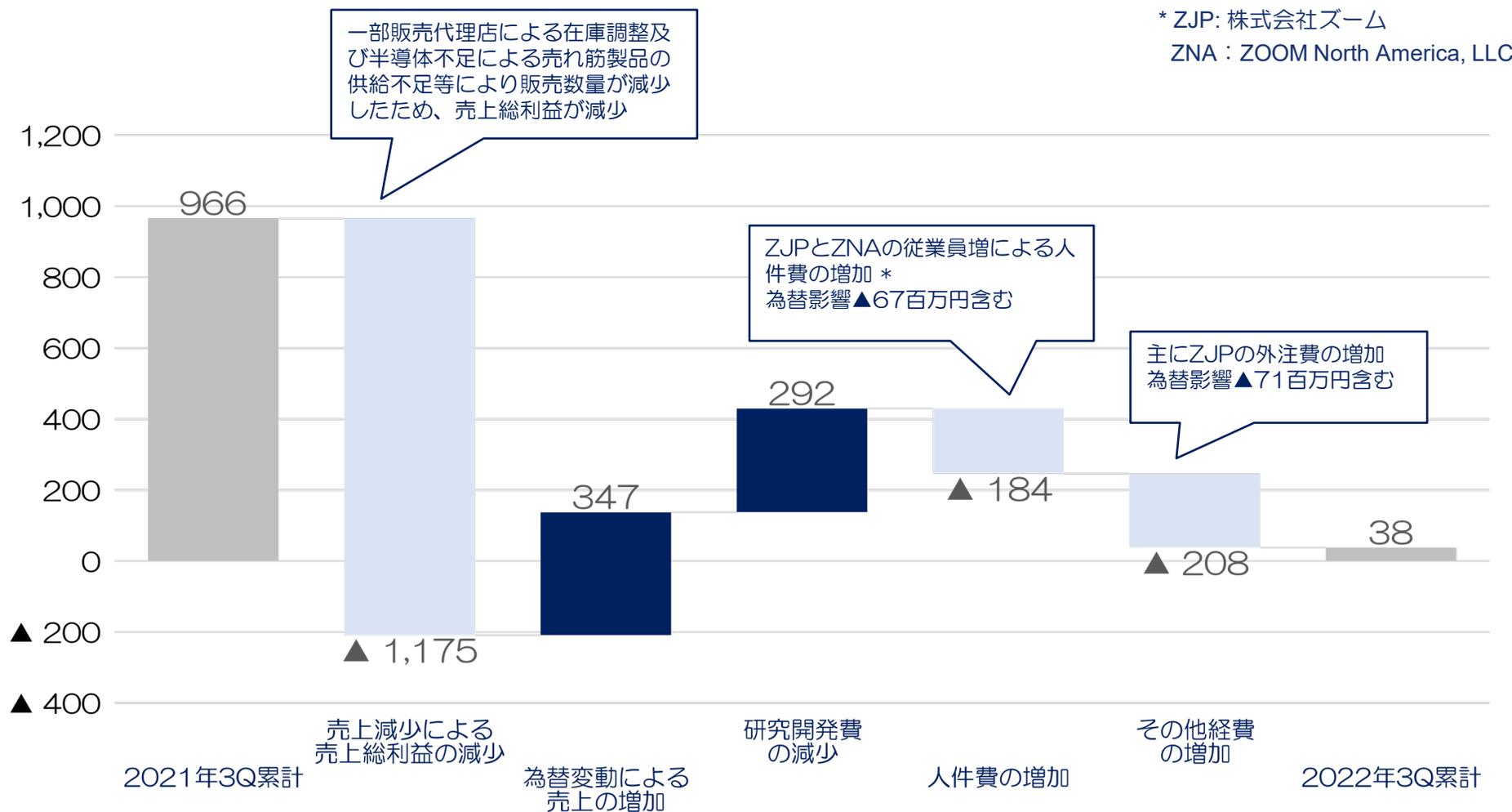
(百万円)

	2021.12期 3Q実績(シェア)	2022.12期 3Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
北 米	3,620 (37%)	2,980 (34%)	▲640	<ul style="list-style-type: none"> 販売代理店の在庫調整による出荷の減少 特に、HAR、DMX (Pシリーズ) の販売減が2Qから継続
日 本	1,403 (14%)	2,147 (24%)	744	<ul style="list-style-type: none"> フックアップの決算日変更によるフックアップ売上増 (817百万円) 昨年の売れ筋商品 (L-8, Q2n-4K, iQ7) の売上が低迷 半導体不足の影響による新製品F3の供給不足
南ヨーロッパ※1	1,499 (15%)	1,565 (18%)	65	
中央ヨーロッパ※2	1,682 (17%)	824 (9%)	▲857	<ul style="list-style-type: none"> 前年1Qに主にHAR、DMXの受注残の大量出荷があったことによる反動減 半導体不足の影響による新製品F3の供給不足
中国	198 (2%)	201 (2%)	3	
その他	1,359 (15%)	1,115 (13%)	▲243	<ul style="list-style-type: none"> スウェーデン▲50M、U.A.E▲47M、ロシア▲41M
合計	9,764	8,835	▲928	

※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

営業利益の増減分析（百万円）



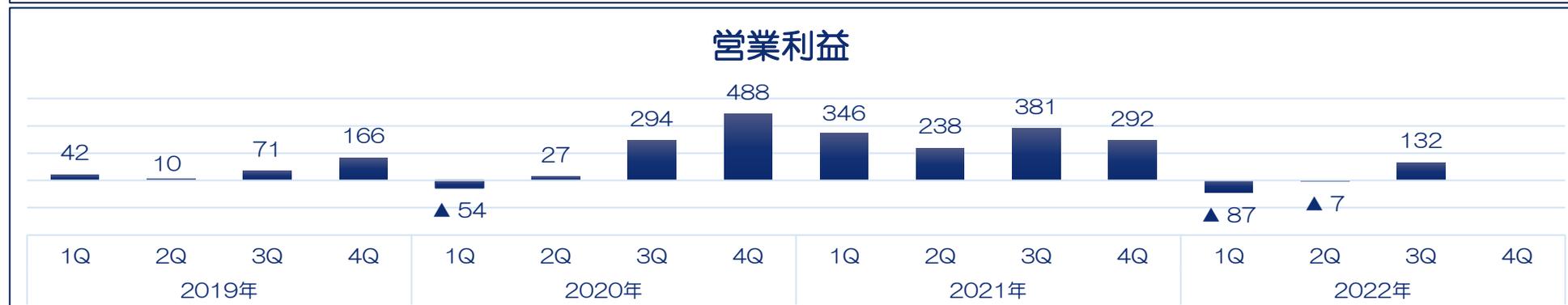
2022年12月期 第3四半期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

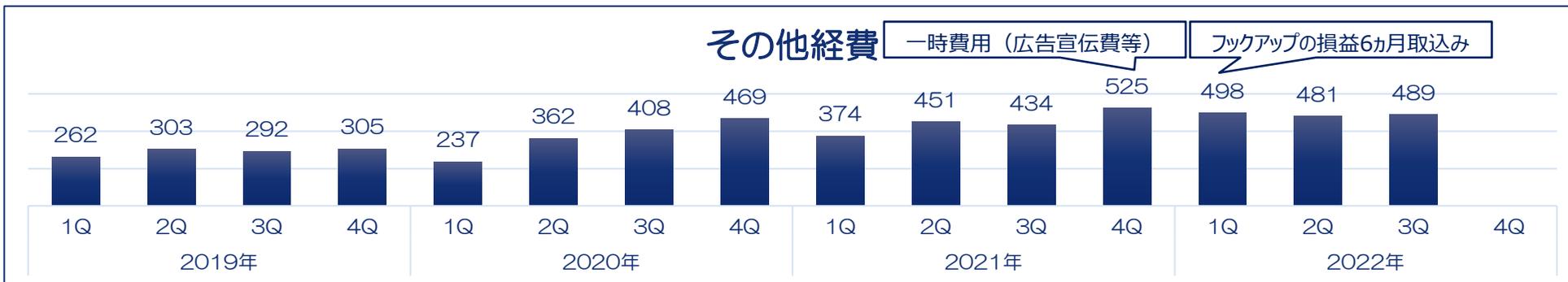
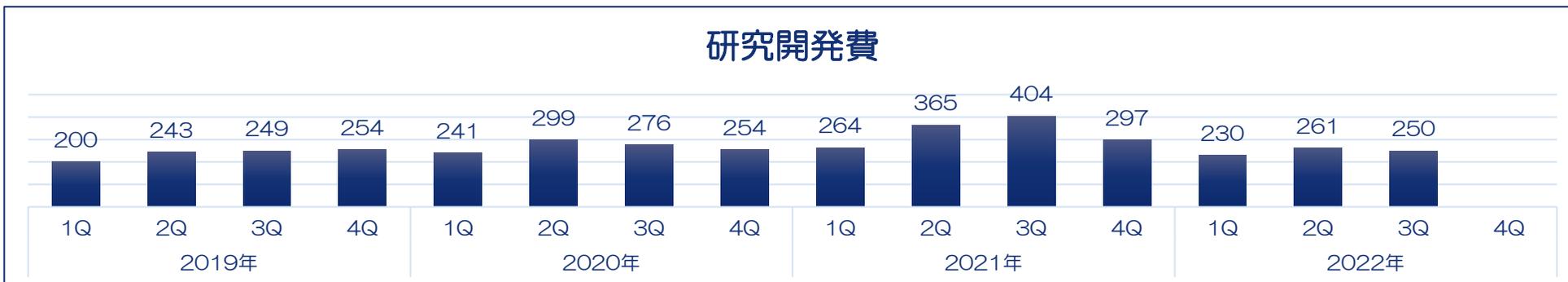
	21.12期末	22.12期 第3Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	8,035	11,072	3,036	
現預金	2,067	1,985	▲82	
売掛金及び契約資産	1,950	1,574	▲376	売上減少：前期4Qは3,653百万円、当期3Qは3,177百万円
商品及び製品	2,963	4,582	1,618	半導体不足による部品供給難により生産リードタイム増加、円安の影響により海外子会社の在庫金額増
原材料及び貯蔵品	155	1,320	1,164	収益認識基準適用により、新たに有償支給品の在庫額を認識（1,010百万円）
固定資産	2,794	3,023	228	
有形固定資産	548	526	▲22	
無形固定資産	1,476	1,610	133	のれん+141百万円（円安の影響）
投資その他の資産	769	886	116	繰延税金資産+102百万円（円安の影響）
資産合計	10,829	14,095	3,265	
流動負債	3,675	6,426	2,751	収益認識基準の適用により、新たに有償支給に係る負債を流動負債（その他）に計上（1,010百万円）
買掛金	1,000	1,381	380	円安の影響による増加
短期借入金	1,346	2,759	1,412	運転資金の調達等により増加
固定負債	1,242	1,158	▲84	長期借入金の返済
負債合計	4,917	7,584	2,666	
資本金	212	212	—	
純資産合計	5,911	6,510	598	円安により為替換算調整勘定+859百万円
負債純資産合計	10,829	14,095	3,265	

(百万円)



年末商戦に向けた販売代理店への出荷増や円安により売上・利益が回復傾向

(百万円)



研究開発費は対前年同期比で減少も、円安により人件費とその他経費は対前年同期比増加

3Qの業績が予想よりも上振れたことや4Qは売上の回復が見込まれるため、連結業績予想は変更せず。

- ・ 3Qは、2Q末時点の予想よりも業績が上振れ、3Q累計の営業利益・経常利益は黒字で着地
- ・ 4Qは、現地在庫の適正化が進んでいることや、生産の平準化と年末商戦により売上が大きく伸びると予想

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期				
		予想	増減額	増減率	3Q実績	達成率
売上高	13,417	13,000	▲417	▲3.1%	8,835	68%
営業利益	1,258	700	▲558	▲44.4%	38	5%
経常利益	1,216	650	▲566	▲46.6%	61	9%
親会社株主に帰属する当期純利益	854	400	▲454	▲53.2%	▲44	-
EBITDA	1,666	1,110	▲556	▲33.4%	364	33%

一株当たり当期純利益	199.56円	92.87円	▲106.69円	▲53.5%
一株配当	102円 (分割考慮後 51円)	50円	—	—
配当性向	25.6%	53.8%	—	—
為替レート (円/米ドル)	109.8円	108.0円	—	—

※ 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
 一株当たり当期純利益は、分割後の株式数で記載。
 一株配当は、21.12期は分割前、22.12期は分割後で記載。

※ 為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約27百万円減少（増加）

通期では売上・利益ともに業績予想を達成の見込み

(百万円)

	21.12期 実績	22.12期				
		予想	増減額	増減率	3Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,933	3,884	▲1,049	▲21.3%	2,583	67%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	2,203	2,013	▲190	▲8.6%	964	48%
マルチエフェクター (MFX)	1,289	1,123	▲166	▲12.9%	922	82%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	968	1,231	+262	+27.1%	827	67%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	819	635	▲183	▲22.3%	445	70%
その他	1,278	1,361	+83	+6.5%	744	55%
Mogar取扱いブランド	827	808	▲18	▲2.2%	761	94%
フックアップ取扱いブランド	1,098	1,942	+844	+76.9%	1,587	82%
合計	13,417	13,000	▲417	▲3.1%	8,835	68%